

農業委員会委員応募状況（令和6年5月9日現在）

推薦（法人又は団体）

応募番号 1

被推薦者（推薦を受ける者）			
(いとう あきひろ) <b>伊藤 明洋</b>	職業	営農年数	
	農業	46年	
	年齢	耕作面積	
	64歳	18,000㎡	
	性別	営農類型	
男	水稲		
応募理由(抱負)			
個人での農業経営改善計画認定は受けていませんが県地区北野町農家組合の構成員です。 今回県地区農業推進協議会より依頼を受け地域の農業の役に立てるのならと考え協議会の推薦を受けることとしました。 農業委員に就任した場合以前在職中の経験を生かし、今後も地域農業にかかわり農業振興と、農業委員会の業務に関して貢献したいと考えます。			
年 月	勤務経歴	年 月	団体における経歴
昭和61年 4月	三重用水土地改良区 入職	令和5年 4月	県地区三重用水入水組合 組合長就任 現在に至る
令和2年 3月	三重用水土地改良区 退職		
		認定農業者である	無
農地利用最適化推進委員への推薦・応募状況	無	同意事項について	同意する
推薦者			
名称		代表者又は管理人の氏名	
県地区農業推進協議会		会長 水野 誠	
		構成員の人数	
		21名	
活動の主たる目的		構成員の資格・要件等	
県地区農業振興		県地区在住	
推 薦 理 由			
伊藤明洋氏は三重用水土地改良区に長年勤務されてきました。今回農業委員を推薦するにあたり伊藤氏の職歴から地域の農業において長く治水の面から関わってこられたと判断します。またその経験は地域の農業者や営農組織からも非常に多くの信任を得られています。地域農業や農家情報に精通しており農地集積や耕作放棄地の未然防止・解消・復旧等農業委員会の業務に大きく貢献できると考え伊藤氏を農業委員に推薦いたします。			

農業委員会委員応募状況（令和6年5月9日現在）

応募

応募番号 2

応募者		
(やまかわ たいぞう) <b>山川 退三</b>	職業	営農年数
	農業兼設計事務所自営	39年
	年齢	耕作面積
	67歳	39,000㎡
	性別	営農類型
	男	水稲

応募理由(抱負)

これまでの職歴・農業経験等から地域の農業環境に危惧しています。認定農業者、家族経営者として、農地の利用集積・集約化について、自らの技術能力を実践して精力的に活動していきたいと考えています。

一級建築士、一級（土木、建築、造園、管工事）施工管理技士として、農業用水利施設、農道、圃場等の農業基盤の整備、水田の大規模化に寄与いたします。

地域農業や農家情報に精通しており、農地転用、農地の貸借等についても民事調停員（月2回程度）の経験から権利移動許可についても具申できます。

以上、農業委員会業務に貢献できると考えている。

年 月	勤務経歴	年 月	団体における経歴
昭和54年 4月	株式会社大林組 工事主任	平成28年～令和元年	(一社)三重県建築士会 常任幹事 三泗支部長
昭和60年 5月	就農、現在に至る	令和2年 4月	津地方裁判所民事調停員 就任、現在に至る
平成3年10月	株式会社中部近鉄百貨店 企画課長		
平成20年 5月	株式会社メディアート 製作課長		
平成22年 6月	近鉄軌道エンジニアリング 工事課長		
平成29年 2月	株式会社久米設計 設計監理者		
令和1年 6月	山三設計工務一級建築士事務所 自営		
		認定農業者である	有
農地利用最適化推進委員への推薦・応募状況	無	同意事項について	同意する

農業委員会委員応募状況（令和6年5月9日現在）

応募

応募番号 3

応募者			
(さとう まゆみ) <b>佐藤 真由美</b>	職業	営農年数	
	無職	無	
	年齢	耕作面積	
	63歳	無	
	性別	営農類型	
女	該当なし		
応募理由(抱負)			
<p>四日市市に住み早くも40年近くが過ぎようとしています。名古屋にも近くしかも自然が豊かで本                      当にいい町に住んでいるなあと心から感謝です。しかし近年若者の農業ばなれが進み、これも時代                      の流れはいたしかたない事だと思います。ご先祖様から受け継いだ農地をどの様に活用して行くか                      今後の課題だと思います。今後せまりくる南海トラフ地震、30年以内の発生確率は80%。1億人近                      い人々の食糧が不足。日本の国家存亡の危機、壊滅的な被害と言われております。太陽光パネルの                      設置の拡大と共に、自然災害に強い町作りを目ざして行けたらと思います。</p> <p>うつくしい町四日市を次世代に残して行けます様、担い手への農地集積や耕作放棄の未然防止、                      解消等農業委員会業務に貢献して行けたらと切に願っています。</p>			
年 月	勤務経歴	年 月	団体における経歴
		平成16年～	四日市市連絡員就任 現在に至る
		平成29年～	桜地区民生委員就任 現在に至る
		認定農業者である	無
農地利用最適化推進委員へ の推薦・応募状況	無	同意事項について	同意する

農業委員会委員応募状況（令和6年5月9日現在）

推薦（個人）

応募番号 4

被推薦者(推薦を受ける者)		
(すぎはら としゆき) <b>杉原 俊行</b>	職業 農園マネージャー	営農年数 2年
	年齢 83歳	耕作面積 60,000㎡
	性別 男	営農類型 露地野菜

応募理由(抱負)

(応募理由)日本の農業は担い手の高齢化、それに起因する耕作地の不耕作地化が顕在化し、今後も拡大する傾向は避けられない。それに伴い耕作放棄地化、荒廃化、太陽光発電用地など多用途への変換が進行している。農業委員会業務の遂行の農地利用の最適化の指針づくりは最も重要な業務である。かかる業務は従来主として土地所有者からの観点でなされてきた。しかしウクライナ情勢にみられる世界情勢の激変、日本経済の停滞などから日本の農業を大きく見直す必要性に迫られており新しい観点からの取り組みが必要である。新しく就農した農業経営者からの観点も必要である。被推薦者は新規農業経営者である推薦者の農園のマネージャーをしており土地利用者として農地地用の最適化を把握する立場にある。農業委員会は農地所有者の利害を考慮する立場にある事は当然であるが日本の農業の存亡もある程度考慮すべき時期にあると思う。イスマイル農園では下記参考に示すように短期間で約600aの不耕作地、および不耕作地化予備軍耕作地を拡大耕作している。

(抱負)耕作放棄地を増大させない、耕作放棄地を再利用するための実施すべき事項の一つとして土地所有者と土地利用者のマッチングを図る必要があると考える。そのためには、農地情報のデータ化、農地利用情報のデータ化が必要である。農地情報のデータベースには面積だけでなく、位置情報、水稲耕作地か野菜耕作地か、水利の便宜、農機運行適否、水はけ、農地集積可能か、稲作地の裏作利用借地可能か、将来的には農地最適化不可などの判断等々を収集集積し利用できるようにすることが必要である。実際には予算をとり、市の仕事として業務委託することになるが農業委員会業務としてやるべきこと(委託のモデルづくり=指針の作成、最適化の推進に関する施策、意見の提出等)がある。退職前の業務では環境アセスメント評価書作成、都市計画書作成に携わった経験があり農業委員会業務に関与したい。

(参考)農業経営の状況附帯メモ 農業経営の状況 マネージャー職務に関わるイスマイル農園の農業経営状況  
農業類型:露地野菜 耕作面積160a(川島地区)、300a(鈴鹿)、140a(安濃)、計600a

年月	勤務経歴	年月	団体における経歴
昭和39年4月	三菱油化(株) 入社		
昭和54年6月	三菱化学(株)子会社 (株)アクトリサーチ 環境企画部長就任		
平成12年10月	(株)アクトリサーチ 退任		
令和3年7月	イスマイル農園(現ヒゲニ合同会社) マネージャーとして間接就農、 現在に至る	認定農業者である	無
農地利用最適化推進委員への推薦・応募状況	無	同意事項について	同意する

推薦者

氏名	年齢	性別
(ヒゲニ イスマイル ワムサンゴ) HIGENYI ISMAIL WAMSANGO	38歳	男
職業 農業経営者		

推薦理由

農業委員会は農地を持っている人が委員になり、農地の管理を仕切っている。そうした中で一部の農地は放棄地となり荒れ放題である。耕作することもなく40年も草繁殖の防止のためトラクターを入れる耕地も散見される。

被推薦者は農地非所有者である。推薦者はイスマイル農園を営んでいる。土地など農業資産、農業技術、流通伝手などゼロの状態から、二年の準備を終え、三年前から本格参入をはじめ、実績を重ね、JAの厚い信頼も得て、年商1,200万円以上あげる段階にある。被推薦者はその農園に当初から関わってもらっていて、農地を借用するときには力になってもらっており、農園運営のマネージャーを務めてもらっている。農園では課題は次々発生しその課題を共有している。借地農地管理課題である。

農地所有者と農地利用者が知恵を出し合って、後継者が現れ土地利用ができるような農地管理情報構築が必要と常々話し合ってきている。推薦者が獲得した農業生産のあらゆるノウハウを土地所有者に提供し後継者の道を開く可能性も追及できるのではないかと考えている。